



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL http://www.koike-japan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 康洋
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,080	1.6	933	△10.2	1,160	△14.2	536	△10.5
29年3月期第3四半期	30,593	△9.2	1,039	△32.3	1,352	5.4	599	△0.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,017百万円 (ー%) 29年3月期第3四半期 △10百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	129.67	—
29年3月期第3四半期	144.82	—

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	53,782	31,038	53.9
29年3月期	53,899	30,417	52.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 28,988百万円 29年3月期 28,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	9.00	9.00
30年3月期	—	—	—		
30年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 2円00銭

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	0.8	1,400	△7.9	1,600	△13.7	900	△29.1	217.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 平成30年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	4,522,933株	29年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	384,487株	29年3月期	383,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	4,138,809株	29年3月期3Q	4,139,245株

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成29年6月28日開催の第94期定時株主総会において、株式併合について承認可決されたことにより、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りとなります。

- (1) 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 7円00銭
- (2) 平成30年3月期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 通期 21円74銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済や欧州経済が堅調に推移し、緩やかな回復の動きが見られました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しにより、総じて回復基調で推移しました。

当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界では需要回復の動きが見られ、また、造船業界では低迷していた市況に回復の兆しが見られたものの、当社の受注環境への影響は限定的なものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは4月から「グランド100トライアスロンセール」を開始し、拡販活動に努めるとともに、世界市場に向けた新技術・新製品の開発に取り組み、売上高は増加したものの、老朽化した容器の更新費用や昨年度取得した大阪の建物・設備に係る減価償却費等が増加したことにより、利益は減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は310億80百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は9億33百万円（同10.2%減）、経常利益は11億60百万円（同14.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億36百万円（同10.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、当社グループの主需要先である造船業界で低迷していた市況に回復の兆しが見られたものの、当社の受注環境への影響は限定的なものとなり、売上高は減少しました。

しかしながら、コストダウンへの取組等により、一部の海外子会社で利益率の改善が見られたことから、利益は増加しました。

その結果、売上高は122億15百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益は8億47百万円（同5.4%増）となりました。

高压ガス

高压ガス部門においては、「グランド100トライアスロンセール」を機に拡販活動を強化しましたが、大型案件の受注には至らず、売上高は減少しました。また、販売強化に向けた人件費や老朽化した容器の更新費用が増加したことにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は117億61百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は5億74百万円（同11.6%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、4月から開始した「グランド100トライアスロンセール」の一環として様々な販売企画や全国各地でガス切断・溶接作業に関する安全講習会を実施するとともに、「こいけ市」にて新商品の拡販活動を行ったことにより、溶接材料・溶接機・安全器の売上高が増加しました。

その結果、売上高は67億66百万円（前年同期比13.3%増）、セグメント利益は2億33百万円（同43.2%増）となりました。

その他

その他の部門においては、排ガス処理装置に関する中国・台湾での大型液晶画面向けの需要回復を背景とした受注の増加やヘリウム関連機器の保守・メンテナンスに関する営業活動を推進したことにより、売上高および利益が増加しました。

その結果、売上高は3億37百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は8百万円（同155.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は537億82百万円で、前連結会計年度末比1億16百万円の減少となりました。

流動資産合計は302億76百万円で、前連結会計年度末比5億62百万円の減少となりました。これは主に仕掛品が6億40百万円増加の一方、現金及び預金が11億77百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は235億6百万円で、前連結会計年度末比4億45百万円の増加となりました。これは主に機械装置及び運搬具が1億31百万円減少の一方、投資有価証券が7億34百万円増加したことによるものです。

（負債）

流動負債合計は175億16百万円で、前連結会計年度末比5億75百万円の減少となりました。これは主に電子記録債務が6億10百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は52億27百万円で、前連結会計年度末比1億62百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が3億27百万円減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は310億38百万円で、前連結会計年度末比6億21百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が1億64百万円増加、その他有価証券評価差額金が5億円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は53.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,067	8,890
受取手形及び売掛金	13,162	12,721
商品及び製品	4,241	4,383
仕掛品	1,245	1,886
原材料及び貯蔵品	1,380	1,609
その他	946	979
貸倒引当金	△205	△195
流動資産合計	30,838	30,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,516	4,495
機械装置及び運搬具(純額)	1,296	1,164
工具、器具及び備品(純額)	321	339
土地	9,445	9,431
リース資産(純額)	1,151	1,107
建設仮勘定	33	17
有形固定資産合計	16,764	16,556
無形固定資産		
のれん	38	26
リース資産	13	11
その他	230	204
無形固定資産合計	282	241
投資その他の資産	6,013	6,708
固定資産合計	23,060	23,506
資産合計	53,899	53,782

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,709	7,188
電子記録債務	3,490	2,880
短期借入金	4,019	3,805
1年内返済予定の長期借入金	619	482
未払法人税等	301	154
賞与引当金	406	254
役員賞与引当金	79	45
受注損失引当金	30	39
製品保証引当金	51	39
その他	2,383	2,626
流動負債合計	18,091	17,516
固定負債		
長期借入金	623	296
役員退職慰労引当金	177	193
退職給付に係る負債	156	158
資産除去債務	14	14
その他	4,417	4,563
固定負債合計	5,390	5,227
負債合計	23,482	22,744
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,354
利益剰余金	19,928	20,092
自己株式	△918	△920
株主資本合計	25,392	25,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,469	1,969
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	491	425
退職給付に係る調整累計額	183	169
その他の包括利益累計額合計	3,012	3,433
非支配株主持分	2,012	2,049
純資産合計	30,417	31,038
負債純資産合計	53,899	53,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,593	31,080
売上原価	22,177	22,226
売上総利益	8,415	8,854
販売費及び一般管理費	7,376	7,920
営業利益	1,039	933
営業外収益		
受取利息	11	9
受取配当金	82	88
受取賃貸料	116	134
持分法による投資利益	35	39
物品売却益	18	28
為替差益	89	46
貸倒引当金戻入額	39	9
その他	34	23
営業外収益合計	427	379
営業外費用		
支払利息	66	63
賃貸費用	27	40
その他	19	48
営業外費用合計	114	152
経常利益	1,352	1,160
特別利益		
固定資産売却益	18	1
投資有価証券売却益	—	5
その他	0	1
特別利益合計	18	9
特別損失		
固定資産除売却損	16	1
減損損失	12	97
投資有価証券売却損	0	—
関係会社株式評価損	144	—
関係会社出資金評価損	—	22
その他	23	0
特別損失合計	196	122
税金等調整前四半期純利益	1,174	1,046
法人税、住民税及び事業税	230	318
法人税等調整額	259	135
法人税等合計	489	454
四半期純利益	685	592
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	599	536

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	685	592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	499	506
為替換算調整勘定	△1,187	△67
退職給付に係る調整額	△6	△13
その他の包括利益合計	△695	425
四半期包括利益	△10	1,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12	958
非支配株主に係る四半期包括利益	2	59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,530	11,790	5,972	30,294	299	30,593	—	30,593
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,530	11,790	5,972	30,294	299	30,593	—	30,593
セグメント利益	803	649	162	1,616	3	1,619	△580	1,039

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△580百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△794百万円、棚卸資産の調整額125百万円、その他の調整額△1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,215	11,761	6,766	30,743	337	31,080	—	31,080
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,215	11,761	6,766	30,743	337	31,080	—	31,080
セグメント利益	847	574	233	1,655	8	1,663	△729	933

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△729百万円には、セグメント間取引消去104百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△868百万円、棚卸資産の調整額32百万円、その他の調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機械装置」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となった該当事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、97百万円であります。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	9,970	93.1
高压ガス (百万円)	258	88.1
報告セグメント計 (百万円)	10,228	92.9
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	10,228	92.9

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	7,434	102.3	3,517	99.9

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	12,215	97.5
高压ガス (百万円)	11,761	99.8
溶接機材 (百万円)	6,766	113.3
報告セグメント計 (百万円)	30,743	101.5
その他 (百万円)	337	112.9
合計 (百万円)	31,080	101.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。